

住民×議会 みんなで未来を語る会 報告書

開催日時 令和8年8月21日（金）19時00分～

開催場所 若狭町役場三方庁舎3階

テーマ	こんなイベントあったらいいな！
出席議員	松本弘康議員、速水真由子議員
参加者数	5 人
課題	①秋から冬にかけての観光客向けイベントが比較的少ない。 ②子どもたちの心に残る地域のお祭りが減少している。
意見・方向性等	①若狭町ならではの魅力体験！ナイトイベント 世界的な資源である年縞博物館前（縄文ロマンパーク）を会場とし、虫の音色や澄み切った美しい夜空を鑑賞。周辺にかがり火を焚き、火を囲みながら心のデトックスを促す癒やしの空間を創出する広く観光客をターゲットにした企画。 ②復刻！「夏祭り」郷土愛の醸成と住民同士の交流を目的に、下記要素を組み込んだ地域のお祭りを企画。 ・親子フリーマーケット：親子が一丸となって商売を体験 ・魚の山積み市場：魚をお得に買える機会の創出 ・ゲーム、スポーツ交流：町民が地域を超えて交流 ・ドリームチャレンジ：子どもたちが発表した夢に対する融資・サポート

ほくたちわたしたちの おまつり

現状・課題

・秋・冬イベントが少ない

角井決策

・秋冬に大きなイベントを開催

・観光客も参加できるイベントにしたい

体験（団合・癒し・デトックス）

・フリーマーケットで「地元の野菜・

魚が買える（地産地消）

年縞を感じながら
鈴虫とともに夜空を
流める。

周りには薪を使った
かがり火

心のデトックス

夏祭り（名水・縄文祭り）

子ども達の心に残る地元のお祭りの復活

⇒子ども達と地元の大人達の交流

⇒郷土愛をはぐくむことにつながる

⇒地元に残ってくれる、地元に戻る人が増える。

① 地元の人が参加できるイベント ② 花火

○フリーマーケット（たいやう）

縁日

○魚を安く買える？

○ゲーム、スポーツ（ボウリング）

⇒賞金アリ

○ドリームチャレンジ（ステージ企画）

⇒中・高生の夢の実現